

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

兵庫県神戸市
が応援するふるさと名物

「ファッション産業」

衣・食・住・遊に関わる生活文化産業関連製品
神戸洋服・アパレル・神戸靴・ケミカルシューズ・
真珠加工製品・清酒（灘の酒）・コーヒー・
洋菓子・パン・神戸洋家具



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

兵庫県神戸市



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

神戸市の
プロフィール

平成29年1月1日、神戸港は開港150年の節目を迎えました。

神戸市では、開港150年を迎え、「輝ける未来創造都市の実現」に向けた取り組みを加速し、「輝ける未来創造都市」づくりを推進するために、

- 1 市民が元気で働けるにぎわいのある街の実現
- 2 世界に誇れる夢のある街の実現
- 3 安心して子育て・教育ができる街の実現
- 4 市民が地域とつながり福祉と医療をはじめ安心してくらせる街の実現
- 5 本物の市政改革を進め新しい地方自治がはじまる街の実現

を5つの柱として、若者に選ばれるまち、誰もが活躍するまちをめざして神戸の新たな未来を切り開く施策を積極的に展開しています。



1

主な地域資源

◆神戸洋服

神戸での洋服の起源は、明治2年に英国人カペル氏が外国人居留地に洋服店を開店したことに始まります。同年には日本人による洋服店も開業しました。その技術は神戸の職人たちに受け継がれオーダーメイドで仕立て上げられる紳士服のデザインレベルの高いものとなっています。



◆アパレル

神戸のアパレル企業の多くは、戦後に設立されました。昭和48年の「ファッション都市宣言」以降、官民一体でファッション都市づくりを進め、アパレル企業は急成長を遂げました。大手企業だけでなく個性的でハイセンスなデザインを発信する中小のアパレル企業も多く、層の厚さが特徴です。



1

主な地域資源

◆神戸靴

開港後、外国人居留地に住む外国人の靴の修理や新たなオーダーに対応するため、当時の草履や鼻緒を作る職人が従事したことに始まります。その後、多くの靴職人が本格的な製靴技術を学ぶために全国から集まり、ハンドメイドの高級革靴を生産しました。「神戸の履きだおれ」として全国に名を馳せています。



◆ケミカルシューズ

神戸では、大正時代の中ごろからゴム履物産業が盛んになりました。ゴムの配給が不足した第二次世界大戦後に様々な材料で靴を作ることになり、昭和27年ごろケミカルシューズが誕生しました。現在は、ブランド力の向上に取り組んでおり、平成26年には「神戸シューズ」として特許庁の地域団体商標登録されています。



1

主な地域資源

◆ 真珠加工製品

神戸の真珠産業は、神戸港の存在、三重県や四国等の真珠の産地への近接性、加工に最適な自然光の存在などを背景に発展してきました。現在、世界で流通する真珠の約7割が神戸で加工されているとも言われており、日本固有のあこや真珠以外にも黒蝶・白蝶真珠などの南洋真珠の多くが神戸から世界へ輸出されています。



◆ 清酒（灘の酒）

「灘五郷」は、西郷、御影郷、魚崎郷（神戸市）、西宮郷、今津郷（西宮市）、から成る、課税出荷量が全国シェア約25%を占める日本一の酒処です。酒造好適米「山田錦」、宮水と呼ばれる良質の水、丹波但馬杜氏の酒造技術などの好条件が揃い「灘の酒」は生まれました。地域には見学可能な酒蔵や資料館もあり、多くの観光客が訪れています。



神戸市のファッション産業について

1

主な地域資源

◆コーヒー

欧米人の必需品であるコーヒーは、神戸港の開港とともに輸入が始まり、次第に焙煎業が発達していきました。明治11年には国際色が豊かな元町にコーヒーハウスが登場しました。日本のコーヒー生豆輸入の1/4が神戸港。大手コーヒーメーカーや焙煎工場などが多くあり、神戸は日常にコーヒーが溶け込んだまちです。



◆家具（神戸洋家具）

神戸港開港とともに、外国人が持ち込んだ家具の修理などを船大工が請け負ったことから神戸の洋家具業は始まりました。神戸の洋家具は手作りを基本とし、北欧、南欧、英国などの欧風家具をベースに日本風にアレンジした高級家具です。



1

主な地域資源

◆洋菓子・パン

神戸では、外国人居留地の住民や船員などのために洋菓子が作られるようになりました。本格的な洋菓子店は、明治30年に元町で開業したのが始まりと言われています。その後、外国の職人の高い技術をもとに、神戸の職人が創意工夫を加え、神戸に洋菓子文化が発展しました。今では「神戸スイーツ」として全国に有名です。

また、同時に作られるようになったパンは、1世帯あたりの消費量・支出金額ともに、神戸市は全国でトップレベルで、多くのファンを持つ有名店もたくさんあります。



神戸市のふるさと名物

「ファッション産業」

～衣・食・住・遊に関わる生活文化産業関連製品～

2

ふるさと名物

神戸市では、衣・食・住・遊に関わる生活文化産業を「ファッション産業」と位置付けています。神戸が国際貿易港として発展していく過程で根付いたこれらの産業は、「神戸ブランド」として幅広く認知され、神戸のまちの発展に大きな役割を果たしてきました。

洋服、靴、コーヒー、洋菓子・・・神戸から日本に広がったと言われるものは、数えきれないほどあります。新しい物好きで本物にこだわる神戸の人たちは、外国の文化や産業を積極的に取り入れ、独自の「神戸スタイル」を作り上げてきました。それらは神戸っ子の生活の中に取り入れられ、今も受け継がれています。

ファッション産業

～衣・食・住・遊に関わる生活文化産業関連製品～

- | | |
|------------|-------------|
| ① 神戸洋服 | ⑤ 真珠加工製品 |
| ② アパレル | ⑥ 清酒（灘の酒） |
| ③ 神戸靴 | ⑦ コーヒー |
| ④ ケミカルシューズ | ⑧ 洋菓子・パン |
| | ⑨ 家具(神戸洋家具) |

3

独自の支援策

- ◆ 地場産業の魅力発信と販路開拓支援
地場産業のプロモーション、ケミカルシューズ産業への支援、
「真珠のまちK O B E」の海外発信、「灘の酒」の振興、
神戸スイーツの魅力発信
- ◆ ブランド力強化促進及びマーケット対応力への支援
神戸ブランド販売促進支援、地域ブランド活性化支援
- ◆ ファッション産業の魅力発信と人材育成
神戸コレクション、神戸ファッションウィーク、
神戸ファッションコンテスト、洋菓子フェスタin KOBE
などへの支援
- ◆ 北野工房のまち、神戸ファッション美術館の運営

